

人生で何冊の本が読めるのか。 人生を変える本に何冊出会えるのか。

この夏、圧倒的な読書体験をしよう。平安堂スタッフがおすすめする厳選100冊。

小説

【名作】

江戸川乱歩

江戸川乱歩

筑摩書房／¥968

探偵・猟奇・怪奇・幻想・エッセイも含む珠玉の18の名作短編。“不思議”と“あやかし”の乱歩の世界。

深い河

遠藤周作

講談社／¥858

インドを訪れたことで変わっていく登場人物達を通じ、人生や信仰など様々なテーマについて考えさせられる一冊。

人生について

小林秀雄

中央公論新社／¥990

近代批評の創始者であり、確立者でもある小林秀雄。人生に真摯に向き合い、徹底的に思考を重ねた文章はドキリとするほど力強い。

墮落論

坂口安吾

KADOKAWA／¥484

タイトルとは裏腹に踏み出す勇氣と希望を与えてくれる、著者の実体験を交えた名エッセイ。落ち込んだ時何度も読み返しています。

聖職の碑

新田次郎

講談社／¥902

学校登山の目的とは何だったのか

一。「山に登る」その過程で分かる「畏怖の対象としての山」を、この一冊で感じることができる。

砂の器 上・下

松本清張

新潮社／上¥825・下¥990

差別という日本の闇。戦後、明るさを取り戻す社会の中で、暗い過去を抹殺しようとする人間の業、今なお古びない。

源氏物語

紫式部

角川書店 編

KADOKAWA／¥1,056

「古典の中の古典」とも「日本文学史上最高傑作」ともいわれる名著が、原文＋現代語訳＋解説でよくわかるダイジェスト版。

白い巨塔 1~5

山崎豊子

新潮社／①¥737・②¥737・③¥693・④¥825・⑤¥737

権力を巡る熾烈な権謀術数、医師の良心を問う医療過誤裁判の行末。展開の激しさにもう本を閉じた、でも読まずにいられぬ名作。

ドグラ・マグラ 上・下

夢野久作

KADOKAWA／上¥572・下¥704

その巻物を目にする精神に異常をきたすと言われる。真っ白な部屋で目覚めた記憶のない私を待ち構えるものとは…

【現代文学】

お探し物は図書室まで

青山美智子

ポプラ社／¥814

「何をお探し?」独特な声で問う司

書が勤める意外な本が、悩める5人の人生を後押しする、世代を越え心を癒す極上の連作集。

シャイロックの

子供たち

池井戸潤

文藝春秋／¥770

銀行で現金紛失事件発生!その裏で描かれる行員達の葛藤や本音、家族愛。人生や働く意義を問う企業ミステリー。余韻濃厚です。

星の子

今村夏子

朝日新聞出版／¥682

娘の難病完治を願い新興宗教にのめり込んでいく両親と姉妹の物語。正しいのか?正しくないのか?信じられるものは救われるのか?

今度生まれたら

内館牧子

講談社／¥858

70歳の主婦夏江は、今までの人生の選択が違っていたらと思うことばかり。70代では人生やり直せない?

博士の愛した数式

小川洋子

新潮社／¥693

記憶が80分しか持たない博士と、家政婦とその息子が織りなす、切なく慈愛に満ちた普遍的な日常を綴る一冊です。

後悔病棟

垣谷美雨

小学館／¥759

あとわずかな命とわかった時、後悔はないですか?「あの時こうすれば良かったな」と悔いを残すことなく終えられる生き方とは…

四月になれば彼女は

川村元気

文藝春秋／¥792

過去に失くした「恋」が、大切にしたい本当の「愛」を教えてくれる。スツと心にしみ入るやさしい物語です。

恋

小池真理子

新潮社／¥880

大学生だった布美子は、なぜ軽井沢の別荘で猟銃殺人を犯したのか。助教授の片瀬と妻津子との出会いが彼女を大きく変えていく。

その日のまえに

重松清

文藝春秋／¥814

死にゆく家族によって、当たり前だった日常が変わる。“その日”の前に何ができるのか。幸せの意味を見つめる連作短編集。

小隊

砂川文次

文藝春秋／¥836

ロシアの独立軍が北海道に侵攻してくる!元自衛隊員によるリアリティのある描写。実際に起こり得る事としての恐怖。

そして、

バトンは渡された

瀬尾まいこ

文藝春秋／¥814

実母を亡くし実父は海外赴任。継母を選ぶも大人の都合に振り回される…。が、愛情は確かにリレーされた。感動の本屋大賞受賞作。

エゴイスト

高山真

小学館／¥594

幼少期に母を亡くした同性愛者の浩輔は、病気の母と暮らすトレーナーの龍太と出会い愛し合う。賛否両論の愛。愛とはエゴなのか。

朝が来る

辻村深月

文藝春秋／¥770

息子を引き取りたいと現れたのは実母なのか?出産した中学生と不妊の主婦、二人の母親の苦悩に満ちた道のりとは—

アレグリアとは

仕事はできない

津村記久子

筑摩書房／¥638

性悪ですぐサボる大型複合コピー機アレグリア。主人公が孤軍奮闘する中事件勃発!マジメに生きる人、共感必至の痛快お仕事小説。

きりこについて

西加奈子

KADOKAWA／¥572

誰になんと言われようとも自分の好きなのは曲げない。自分は自分、他人は他人。ありのままの自分でいる大切さを教えてくれる。

少年と犬

馳星周

文藝春秋／¥858

犬の持つ不思議な力。人に寄り添い励ましや癒しをくれる7つの短編集。表題作を涙なくして読み終えることは出来ない。

まずはこれ食べて

原田ひ香

双葉社／¥803

仕事に人生に疲れて行き詰まった時、滋味溢れる温かく美味しいご飯は何よりの薬です。新しい一歩のために「まずはこれ食べて」

グレースの履歴

源孝志

河出書房新社／¥1,012

妻が遺した愛車「グレース」で、妻が仕掛けた履歴をたどる旅。人々とのふれあいから妻の深い愛情を知ることになる涙の感動作。

静かな雨

宮下奈都

文藝春秋／¥616

親しい女性が交通事故によって新しい記憶を留めておけなくなった。忘れても忘れても、二人の人生は少しずつ重なりゆく。

エミリの小さな包丁

森沢明夫

KADOKAWA／¥836

絶望の淵にしようとも、おいしい料理と人との交流が再起のきっかけになる。一章ごとに前に進むエミリの姿が読者の心を救う。

ミステリー

十角館の殺人

綾辻行人

講談社／¥946

ある秘密を抱えた7人の大学生が集う、いわくつきの孤島で起きた連続殺人。刊行から35年以上たっても色褪せない衝撃が襲う。

その可能性は

すでに考えた

井上真偽

講談社／¥836

奇蹟を求め、奇蹟を信じ、奇蹟を否定するクセの強い探偵と、次々に立ちはだかる濃いキャラ達が繰り広げる爽快ミステリー。

刀と傘

伊吹亜門

東京創元社／¥814

維新志士の不可解な死。処刑直前に毒殺された死刑囚。動乱の幕末で起きた数々の事件とその陰にある人間の悲哀を描く本格推理!

葉桜の季節に

君を想うということ

歌野晶午

文藝春秋／¥825

読者として著者に口コソッとだまされ

